

令和5年3月市議会定例会

病院事業局

議案説明資料

(当初予算分)

目 次

【予算案件】

1	令和5年度病院事業会計予算(案)総括表	1 頁
2	令和5年度予算(案)の主な事項	1 頁
3	令和5年度病院事業会計予算(案)	5 頁
4	医療器械整備事業について	7 頁

【予算案件】

1 令和5年度予算（案）総括表

（単位：千円）

		令和5年度 (A)	令和4年度 (B)	増減 (A-B)	対前年度比 (A/B)
収益的収支	病院事業収益	14,526,484	13,677,525	848,959	106.2%
	1 医業収益	12,722,737	12,290,064	432,673	103.5%
	2 医業外収益	1,803,737	1,387,451	416,286	130.0%
	3 特別利益	10	10	0	100.0%
	病院事業費	14,544,349	13,973,404	570,945	104.1%
	1 医業費用	14,284,318	13,740,095	544,223	104.0%
	2 医業外費用	259,731	233,009	26,722	111.5%
	3 予備費	300	300	0	100.0%
	差 引	▲ 17,865	▲ 295,879	278,014	6.0%
資本的収支	資本的収入	1,005,010	715,893	289,117	140.4%
	資本的支出	1,670,230	1,353,772	316,458	123.4%
	差 引	▲ 665,220	▲ 637,879	▲ 27,341	104.3%

2 令和5年度予算（案）の主な事項

(1) 患者数と診療単価、入院・外来収益

			市民病院	まちなか病院
一日平均 入院患者数	R5		391人	43人
	R4		389人	42人
入院患者1人1日 あたり診療単価	R5		57,912円	34,400円
	R4		56,283円	33,000円
入院収益	R5		8,287,569千円	541,387千円
	R4		7,991,358千円	505,890千円
一日平均 外来患者数	R5		962人	102人
	R4		957人	102人
外来患者1人1日 あたり診療単価	R5		12,603円	15,445円
	R4		12,371円	15,442円
外来収益	R5		2,946,123千円	382,670千円
	R4		2,876,923千円	382,754千円

*入院日数366日（前年度365日） 外来日数243日（前年度243日）

(2) 重点事項

- ① 経営改善計画に掲げる施策を着実に実行し、適切な利益を求める効率的な病院運営に努める。
- ② 新型コロナウイルス感染症の感染法上の分類が2類から5類へ移行されることを見据え、感染症対応に必要となる医療資源を確保し、持続可能な医療提供体制の構築に努める。

(3) 主な事項（経営改善計画に基づく令和5年度の行動計画の3つの柱）

① 両病院の認知度の向上

（開業医等への訪問活動、広報の強化など）

（ア）開業医等への訪問活動や症例検討会の実施のほか、広報誌の発行などを通じた地域の医療機関との連携強化等による新規入院患者の確保

（イ）急性期医療を担う市民病院から回復期医療を担うまちなか病院地域包括ケア病床へのスムーズな転院によるシームレスな医療連携体制のアピール

（ウ）医療のデジタル化の推進

・地域のかかりつけ医との一層の連携強化を念頭に、医療画像等を共有するための情報システムの更新や将来的な医療機関同士の紹介状のやりとりや予約、診療情報の共有に向けた検討

② 患者数の増加

（救急受入等の強化、医療の質の向上、患者満足度の向上、病院設備等の整備など）

（ア）救急受入等の強化

・紹介患者や救急患者の積極的な受入の強化による入院患者及び外来患者の確保

（イ）医療の質の向上

・チーム医療の推進による安全で質の高い医療の提供
・医療スタッフへの研修の充実

専門的な知識及び技能が必要な特定行為（※）を行う看護師の育成

(ウ) 患者満足度の向上、病院設備等の整備

- ・計画的な修繕や医療機器の整備による病院機能の維持・向上及びアメニティの向上による患者満足度の向上

(エ) 新型コロナウイルス感染症に対する適切な対応等

- ・新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが2類から5類へ移行することに伴う院内体制の転換及び感染症指定医療機関としての必要な体制の維持

③ 収益性の改善

(収入増加の取り組み、支出削減の取り組み など)

(ア) 収入増加の取り組み

- ・現行の施設基準及び算定している診療報酬の継続的な検証と新たな基準や加算等の取得

(イ) 支出削減の取り組み

- ・職員のコスト意識の向上
- ・両病院での採用薬の統一化による後発医薬品の採用拡大や診療材料の包括購入の推進及び両病院間での医薬品の融通による有効活用
- ・医療システムの更新等における全体最適化（標準パッケージの適用や、更新時期を調整など）による費用の削減

※ 特定行為

医師及び歯科医師が行う診療の補助のことで、看護師が手順書により行う場合には、その内容は厚生労働省令で定められており、経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整など38の行為があり、特定行為を行うためには、厚生労働大臣が指定した指定研修機関での研修の受講が必要となる。

市民病院では、今後の優秀な看護人材の養成と確保のため、2年前からこの研修機関の指定を受けるための準備を進めており、令和5年2月に国からの指定を受け、4月から指定研修機関として研修生の受け入れを開始する。

研修生の受け入れは、令和5年度は、病院事業局内の職員を対象とし、令和6年度からは外部からの受け入れを想定している。

(4) 主な建設改良費 病院の施設整備及び医療器械等の整備

<p>施設工事費</p>	<p>(1) 老朽化した空調機等の更新 ・チーリングユニット外更新工事</p> <p>(2) 高度な手術等を安全に実施するための環境整備 ・ハイブリット手術室実施設計業務委託</p> <p style="text-align: right;">合計 70,400千円</p>
<p>資産購入費</p>	<p>(1) 医療器械の購入 ・手術用無影灯 ・ICU用人工呼吸器 ・採血管準備装置 ・CBCTパノラマ撮影装置 ・X線骨密度測定装置 ・一般X線撮影FPD装置 等</p> <p style="text-align: right;">合計 278,937千円</p> <p>(2) 医療システムの更新及び備品の購入等 ・放射線画像管理システム (更新) ・眼科部門システム (更新) ・抗がん剤混注監査支援システム (更新) ・まちなか病院電子カルテシステム (更新に係る準備) ・検査部門システム用機器 (更新) ・電動ベッド (購入) ・温冷配膳車 (更新) 等</p> <p style="text-align: right;">合計 500,362千円</p>

3 令和5年度病院事業会計予算（案）

（1）収益的収入及び支出

科 目	R 5年度		
	当初予算（案） (A)	市民病院	まちなか病院
病院事業収益	14,526,484	13,453,166	1,073,318
1 医業収益	12,722,737	11,718,290	1,004,447
(1)入院収益	8,828,956	8,287,569	541,387
(2)外来収益	3,328,793	2,946,123	382,670
(3)その他	564,988	484,598	80,390
2 医業外収益	1,803,737	1,734,866	68,871
(1)他会計補助金	472,523	433,960	38,563
(2)補助金	565,833	565,833	0
(3)他会計負担金	674,707	645,367	29,340
(4)長期前受金戻入	29,254	28,961	293
(5)その他	61,420	60,745	675
3 特別利益	10	10	0
病院事業費	14,544,349	13,458,457	1,085,892
1 医業費用	14,284,318	13,216,610	1,067,708
(1)給与費	7,735,988	7,155,252	580,736
(2)材料費	2,852,939	2,684,977	167,962
(3)経費	2,749,173	2,449,324	299,849
(4)減価償却費	877,000	862,116	14,884
(5)その他	69,218	64,941	4,277
2 医業外費用	259,731	241,547	18,184
(1)支払利息及び企業債取扱諸費	18,688	18,641	47
(2)その他	241,043	222,906	18,137
3 予備費	300	300	0
差 引	▲ 17,865	▲ 5,291	▲ 12,574

（2）資本的収入及び支出

科 目	R 5年度		
	当初予算（案） (C)	市民病院	まちなか病院
資本的収入	1,005,010	954,953	50,057
1 企業債	870,600	826,300	44,300
2 出資金	134,400	128,643	5,757
3 県補助金	0	0	0
4 寄附金	10	10	0
資本的支出	1,670,230	1,597,362	72,868
1 建設改良費	849,699	805,320	44,379
(1)施設工事費	70,400	70,400	0
(2)資産購入費	779,299	734,920	44,379
2 企業債償還金	820,531	792,042	28,489
差 引	▲ 665,220	▲ 642,409	▲ 22,811

(単位：千円)

R4年度 当初予算 (B)			増減 (A-B)	対前年度比 (A/B)	備考
	市民病院	まちなか病院			
13,677,525	12,659,571	1,017,954	848,959	106.2%	
12,290,064	11,330,122	959,942	432,673	103.5%	
8,497,248	7,991,358	505,890	331,708	103.9%	
3,259,677	2,876,923	382,754	69,116	102.1%	
533,139	461,841	71,298	31,849	106.0%	一般会計負担金、室料差額収益等
1,387,451	1,329,439	58,012	416,286	130.0%	
466,974	429,148	37,826	5,549	101.2%	一般会計補助金
235,023	235,023	0	330,810	240.8%	県補助金等
599,191	580,147	19,044	75,516	112.6%	一般会計負担金
21,195	20,902	293	8,059	138.0%	
65,068	64,219	849	▲ 3,648	94.4%	施設使用料等
10	10	0	0	100.0%	
13,973,404	12,943,613	1,029,791	570,945	104.1%	【市民病院】 職員数744人(うち再任用13人)
13,740,095	12,725,394	1,014,701	544,223	104.0%	
7,587,655	7,020,885	566,770	148,333	102.0%	【まちなか病院】 職員数49人(うち再任用0人)
2,787,797	2,610,994	176,803	65,142	102.3%	
2,504,807	2,255,922	248,885	244,366	109.8%	
791,644	773,240	18,404	85,356	110.8%	建物・器械備品等の償却
68,192	64,353	3,839	1,026	101.5%	研究研修費等
233,009	217,919	15,090	26,722	111.5%	
19,728	19,220	508	▲ 1,040	94.7%	
213,281	198,699	14,582	27,762	113.0%	雑損失等
300	300	0	0	100.0%	
▲ 295,879	▲ 284,042	▲ 11,837	278,014	6.0%	

(単位：千円)

R4年度 当初予算 (D)			増減 (C-D)	対前年度比 (C/D)	備考
	市民病院	まちなか病院			
715,893	707,236	8,657	289,117	140.4%	
542,300	539,400	2,900	328,300	160.5%	施設工事債、資産購入債、借換債
170,446	164,689	5,757	▲ 36,046	78.9%	一般会計出資金
3,137	3,137	0	▲ 3,137	0.0%	
10	10	0	0	100.0%	
1,353,772	1,337,257	16,515	316,458	123.4%	
584,652	581,726	2,926	265,047	145.3%	
107,500	107,500	0	▲ 37,100	65.5%	チーリングユニット外更新工事
477,152	474,226	2,926	302,147	163.3%	手術用無影灯、放射線画像管理システム 更新業務委託等
769,120	755,531	13,589	51,411	106.7%	
▲ 637,879	▲ 630,021	▲ 7,858	▲ 27,341	104.3%	不足額は内部留保資金で補填

4 医療器械整備事業について

[契約出納課、総務医事課]

(1) 事業目的

医療の高度化・複雑化に対応した病院機能の強化を図るため、医療器械の整備を行うもの。

(2) 導入する主な医療器械

【市民病院分】

診療科	医療器械名	金額(千円)
1. 手術滅菌管理科	手術用無影灯(15台) ※1	69,300
2. 臨床工学科	ICU用人工呼吸器(3式) ※2	17,600
3. 臨床検査科	採血管準備装置	16,390
4. 放射線技術科	CBCTパノラマ撮影装置	13,860
5. 放射線技術科	X線骨密度測定装置	13,750

【まちなか病院分】

診療科	医療器械名	金額(千円)
1. 医療技術部	一般X線撮影FPD装置	15,950

※1 手術用無影灯

手術時に手や医療器具の影が発生しないよう、多数の電球で構成された照明機器。現存の機器は購入から14年が経過し、既に保守サポートが切れ、令和5年12月には電球の供給も終了することから更新を行うもの。



※2 ICU用人工呼吸器

呼吸不全をきたしている患者に人工呼吸を行う機器。購入から17年が経過していることから更新が必要。

